

(令和2年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

情報

果樹カメムシの越冬数調査

ナシやカキ等の果実を加害するチャバネアオカメムシは、秋が深まると体色が緑色から赤褐色に変化し、越冬場所の雑木林等の落ち葉の中では見つけにくくなります。しかし、カメムシを暖かい場所にしばらく置くと元の緑色に戻ります。

当センターでは、前年12月に府内各地から落ち葉を採集して暖かいハウス内に置き、カメムシが緑色に戻った1月末に越冬虫数調査を行いました。その結果、平年よりやや多い越冬虫数でした。今後は、このデータに加え、春から行う光で虫を集める予察灯への飛来数や果樹園での被害調査のデータ等を基に、春のカメムシ発生量を予測し、防除資料として生産現場へ情報提供します。



カキでの被害



通常 越冬中
カメムシの体色変化



落ち葉の中にあるカメムシを探しています